

# 佐世保市立清水小学校

〒857-0031  
佐世保市保立町10番1号  
校長 沖島宏幸  
児童数 427名  
学級数 18学級



## 《めざす子ども像》

(し) しっかり考える子 (み) 自らよく行う子 (ず) すこやかな子

## 1 目的

### (1) 学力向上、よりよい学校生活を送るための調査及び相談活動

教師の視点、親の視点に加え、各種調査及び相談活動を含めるなど多方面から子どもを分析し、支えることで、子どものよりよい学校生活の充実に努める。

### (2) 地域の「ひと・もの・こと」を生かした教育活動の創造

地域とともに歩む学校づくりをめざして、地域の「ひと・もの・こと」を生かした教育活動を充実させるとともに、地域を愛し、地域に貢献できる子どもの育成を図る。

### (3) 校舎の特色を生かした環境美化活動、ボランティア活動の充実

オープンスペースや校舎の配置を生かした環境整備、環境美化に努める。

## 2 実践内容

### (1) 算数科教育の充実

本校では「わかる・できる喜びを実感し、主体的に学ぶ清水っ子の育成」を研究主題に、副主題を「数学的な見方・考え方を深める算数科学習を通して」と設定し、研修を深めた。

研究授業を行うに当たり「視覚化、焦点化、共有化を意識した授業改善」「学びを深める場の設定（対話による学びの深化）」「児童の実態把握と環境整備」を授業の視点とした。



授業研究については、主に「学びを深める場の設定（対話による学びの深化）」の手立てについて研究を深め、基本的な授業スタイルが確立されてきた。学びを深めるために、清水タイムの充実、学習規律や家庭学習の徹底などを図った。環境整備については、家庭学習チェックカードや自主学習への取組の充実など、基本的な学習の進め方について整理することができた。

## （２）地域の「ひと・もの・こと」を生かした教育活動の創造

### ① 1学年 【おもちゃランド（生活科）】

2年生がおもちゃを作り、1年生を招待するおもちゃランドを実施した。1年生は、おもちゃの作り方や、遊び方の説明、お世話の仕方について2年生の活動から学ぶことができた。下級生のお世話をしたいという意欲の高まりが見られた。



### ② 2学年 【レッツゴー 町たんけん（生活科）】

2学年では、校区内の町たんけんに取り組んだ。普段、自分たちが生活している地域のよさを発見するねらいであった。子どもたちはそれぞれに自分が探検したい場所を話し合い、その場所ごとにグループづくりを行った。その場所は「梅田町コース」「宮田町・城山町コース」「万徳町コース」となった。そのコースごとにあるお店や公園、そして自然などに目をむけ、調べ活動に取り組んだ。春と秋の2回行い、まとめの紙芝居作りに取り組んだ。

お店の人に対するインタビューの仕方、調べてきたことのまとめ、そして紙芝居作り・発表会という学習は3年生の総合的な学習へ向けたよい内容となった。



### ③ 3学年 【清水小すばらしさ発見隊（総合的な学習の時間）】

清水小学校では、あいさつ・交通安全見守りボランティア、花ボランティア、図書ボランティアの方々ที่活動してくださっている。3年生はこのボランティアの方々の活動について知り、活動内容やボランティアの方々の思いを知る学習を行った。自分たちのことを思っ

ボランティア精神で活動されている方々の素晴らしいところをたくさん知ることができた。そして、感謝の気持ちをもつことができた。



④ 4 学年 【佐世保美し化プロジェクト（総合的な学習の時間）】

4 学年は、佐世保市の取組「佐世保美し化プロジェクト」に参加して、市役所前のプランターに花の苗植えを体験した。環境美化に加え、郷土愛について学ぶよい機会となった。また、車いす体験や高齢者体験を行うことにより、体が不自由な方や高齢者の方の思いについて考えることができた。



⑤ 5 学年 【地域のよさを発見しよう（総合的な学習の時間）】

5 学年は、総合的な学習の時間で、地域のよさを発見するために職場体験を行った。校区内の公共施設や工場、小売店等、計 11 カ所の事業所にご協力をいただき、終日職場体験学習を行った。職場体験学習を通して、子どもたちは事業所の方々の仕事に対する熱意や様々な工夫に気づき、地域の良さをたくさん発見することができた。自分が住む地域のよさを見つめ、地域の人とのつながりを深めることの大切さについて考える良い機会となった。



⑥ 6学年 【佐世保未来プロジェクト（総合的な学習の時間）】

佐世保市企画部政策経営課の方をお招きして、佐世保市の取組についてお話をうかがった。児童は、改めて佐世保市のよさやすばらしさを知るとともに、佐世保市の未来について考えるようになった。

観光、自然、特産物、人口、歴史・伝統、産業、グルメ、坂道のチームに分かれ、調べ学習を進める中、現状や取組、疑問点について市役所をはじめ地域の施設にファックスで尋ねた後、パソコンでまとめた。

自分自身を振り返るとともに、ふるさと佐世保のよさと自分がどのように関わっていくべきかを考え、地域や人とのつながりを深めることの大切さを改めて学ぶことができた。



### 3 さいごに

学校教育目標及び重点目標「確かな学力向上と定着」「家庭・地域との連携」をめざし、学力向上、地域の「ひと・もの・こと」を生かした教育活動に取り組んでいる。コロナ禍の状況ではあるが、活動内容や方法を工夫して取組を継続することによって、児童は地域のよさを実感し、たくさんの地域の方々に支えられていることに気づくようになってきた。そして、感謝の気持ちをもつとともに、自分たちのふるさとを大切にしていこうとする気持ちも育ちつつある。今後もさらなる充実、発展をめざし実践を継続していきたい。